



ふくしものがたり

FUKUSHIMONOGATARI



災害に備える地域の防災力

表紙：騰波ノ江地区防災訓練 段ボールベッド組み立ての様子

社会福祉協議会 事業報告・決算

- ・古切手 126件
- ・書き損じハガキ 18件
- ・預託品（未使用タオル、紙おむつなど） 61件
- フードバンク事業
 - ・「きずなBOX（食品寄贈ボックス）」を市内9か所に設置。また、食品ロス削減の観点から市内企業より食品の提供及び社内食品回収ボックス設置の協力をいただく
 - ・食糧品の寄付 個人102件 食品回収ボックス等回収数115回
 - ・食糧品の配布 個人269件 市内児童福祉施設等31回
- 食糧支援事業（にこにこ294セット配布事業）
 - ・長期化するコロナ禍で生活に困窮する要保護・準要保護、ひとり親世帯等を対象に食糧支援を実施 年2回 配布件数314件

4. 災害ボランティアセンター事業

- 災害ボランティアセンター
 - ・県社協や行政、関係機関協力のもと、社協役職員を対象に災害ボランティアセンター運営訓練を実施
 - ・しもつまライオンズクラブ並びに(株)ダイナムと「災害時における協力体制に関する協定」を締結



学習支援事業
(夏休み宿題お助け隊)



福祉教育支援事業
(高齢者疑似体験学習)



ファミリーサポートセンター
「うるきっず」



下妻市災害ボランティア
センター運営訓練



食糧支援事業
(にこにこ294セット配布)



地域子育て支援事業
(わくわくみんなの防災
ハロウィン2022)

指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

- 福祉センター「砂沼荘」
 - ・施設利用 総来館者数12,386名
 - ・講座（健康体操教室、シルバーリハビリ体操、スクエアステップ等）の開催 延参加者数3,088名
- ほか2施設（「シルビア」「ひばりの」）を運営

介護保険事業

- 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業（ケアマネージャー） 延利用者数1,751名
- 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業（ホームヘルパー） 延利用者数5,671名
- 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業（デイサービス） 延利用者数3,743名

障害者総合支援事業

- 居宅介護事業（ホームヘルパー） 延利用者数1,542名
- 生活介護事業（デイサービス） 延利用者数5,597名

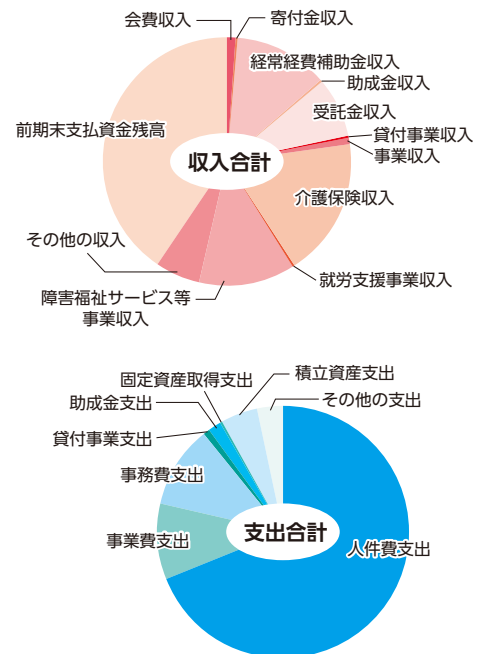
令和4年度 収支決算

(単位：円)

収入	
会費収入	6,150,500
寄付金収入	1,360,758
経常経費補助金収入	56,786,737
助成金収入	1,256,000
受託金収入	36,053,500
貸付事業収入	1,048,089
事業収入	4,110,556
介護保険収入	83,782,369
就労支援事業収入	26,154
障害福祉サービス等事業収入	58,339,824
その他の収入	28,027,079
前期末支払資金残高	188,400,740
収入合計	465,342,306

(単位：円)

支出	
人件費支出	201,334,183
事業費支出	28,690,093
事務費支出	31,203,837
貸付事業支出	1,719,000
助成金支出	4,820,580
固定資産取得支出	340,230
積立資産支出	13,900,000
その他の支出	9,608,880
支出合計	291,616,803



重点目標に対する経過報告

- ・生活困窮者への生活福祉資金の貸付や新型コロナ特例貸付、相談支援等を継続して実施しました
- ・コロナ禍に伴う支援を必要とする世帯への食糧品等の配布においては、市内の事業所や個人、また様々なボランティアの協力のもと事業を実施し、住民同士の支え合い活動の推進を図りました
- ・災害ボランティアセンター運営訓練に際し、関係機関や災害時協定締結団体、社協役員と協働で訓練を実施し、災害時における関係の強化に努めました

令和4年度 社会福祉法人 下妻市

新型コロナウイルス感染症の発生から3年目となった令和4年度は、ウィズコロナの考えの下、経済活動も少しずつ回復の兆しが見えてきました。しかしながらコロナ禍の中で突然の減収や失業等により経済面で困窮した多くの人々の生活は、依然として厳しい状況が続いています。

このため、前年度と同様、生活に困窮された世帯への支援を重要課題とし、新しい生活様式に基づき感染拡大に留意しながら各種事業を実施しました。

法人運営事業

1. 総務部門

- 苦情解決体制の強化
- 広報・啓発活動
 - ・ 広報紙「ふくしものがたり」の発行 年4回 計52,000部
- 会員増強運動の実施
 - ・ 一般会費 9,885世帯 4,942,500円
 - ・ 特別会費 230件 1,208,000円

2. 労務管理部門

- 職員研修の実施
 - ・ 社協の自主研修のほか、下妻市や全国・茨城県社協主催の研修会に参加
- 全職員を対象としたストレスチェックの実施
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底

3. 共同募金関係

- 赤い羽根共同募金運動への協力
 - ・ 募金実績 12,462,116円

地域福祉事業

1. 相談支援・権利擁護部門

- 心配ごと相談事業（弁護士・相談員による法律相談）【市受託事業】
 - ・ 相談件数 78件
- 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】
 - ・ 貸付件数 13件
- 新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付【県社協受託事業】
 - ・ 貸付件数 25件
- 小口資金貸付事業
 - ・ 貸付件数 57件
- 日常生活自立支援事業（日常的な金銭管理や書類の預り）【県社協受託事業】
 - ・ 新規相談件数 18件 新規契約数 5件 契約者 20名
- 成年後見制度事業 新規事業
 - ・ 関係機関との情報共有並びに担当職員の知識向上を図るため、中核機関定例会・成年後見制度利用促進協議会及び各種研修会に参加
- 生活困窮者自立支援事業（生活困窮者等への生活相談支援）【市受託事業】
 - ・ 年間相談件数 96件（就労や家賃等の支援）
 - ・ 住居確保給付金 8件 就労準備支援 1件
 - ・ 家計改善支援 8件 一時生活支援事業 4件
- 学習支援事業【市受託事業】
 - ・ 寺子屋…毎週月曜日、小・中学生を対象に、ボランティアによる学習支援を実施
 - 開催回数 49回 延利用者 173名
 - ・ にこにこ学習塾…市内在住の生活保護・就学援助受給世帯の中学生を対象に、受験や定期テストに向けた学習支援を実施
 - 開催回数 37回 延利用者 225名

2. 地域福祉活動推進部門

- ファミリーサポートセンター事業【市受託事業】
 - ・ 子供の預り 在宅での預り（ファミサポ）延836時間
 - ・ 託児室での預り（うえるきっず）延3,001時間
 - ・ 協会会員研修会・交流会
 - 年4回開催（「感情コントロール研修会」ほか）
 - 参加者 101名
- 地域子育て支援事業
 - ・ 子育て世代を対象とした防災イベント「わくわくみんなの防災ハロウィン2022」の開催 来場者 715名
- 乳幼児発達相談事業（ポーターズプログラム）【一部市補助事業】
 - ・ 個別相談 開催回数 61回 相談者 31名
 - ・ 集団指導 開催回数 46回 相談者 23名

- 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）【市受託事業】
 - ・ 掃除、洗濯、買い物などの軽易な家事支援の実施
 - 利用者 52名 延利用時間 1,903時間
 - ・ 協会会員研修会・交流会
 - 年3回開催（「感染症予防と対策」講話 ほか）
 - 延参加者 60名
- 高齢者見守り事業
 - ・ 心のふれあいを目的に、絵手紙や社協オリジナルカレンダーを一人暮らし高齢者に配布 利用者 1,036名
- ささえあい推進事業
 - ・ 地域におけるサロン活動を推進
 - サロン数計 15ヶ所 延参加者 1,233名
- 小地域福祉活動推進事業
 - ・ 新規サロンの立ち上げ等、地域の居場所づくりや支え合い活動を支援
 - ・ 行政と連携し、地域住民主体の防災訓練を開催できるよう支援

3. 助成金交付事業

- 地域福祉助成・活動支援事業
 - ・ 赤い羽根共同募金を財源に、住民同士で取り組むまちづくり活動を資金面から支援
 - 助成件数 11件 助成金額 1,661,000円
- 下妻市防災ラジオ購入助成金事業
 - ・ 下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として1台につき1,000円の助成を実施
 - 助成件数 128件 助成金額 128,000円
- 活動助成事業
 - ・ 地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び自治区長連合会・民生委員児童委員協議会に助成金を配分
 - 助成件数 10件 助成金額 2,376,580円

ボランティアセンター事業

1. ボランティア活動事業

- ボランティアの登録状況
 - ・ 登録団体数 24団体 個人ボランティア登録者 59名（ボランティア総数 1,415名）
- ボランティア活動助成事業
 - ・ ボランティア活動助成（ボランティアサークル、学校等へ助成）
 - 助成件数 20件 助成額 655,000円
 - ・ ボランティア活動保険助成（ボランティア活動保険に加入する際の費用の一部を助成）
 - 助成件数 388件 助成額 77,600円
- ボランティア育成事業
 - ・ 福祉教育の一環として外出型の福祉教育を開催（「盲導犬に会いに行こう！親子バスツアー＋防災館」）参加者 22名
 - ・ 地域で活動するボランティアの育成を図るため、「初級日本語ボランティア養成講座」及び「移送サービス養成講座」を開催 開催数 11回 参加者 28名
 - ・ 会員交流会の開催 開催数 3回 参加者 188名

2. 福祉教育支援事業

- 市内小中学校の福祉体験支援 体験者（児童、生徒）1,415名

3. 善意銀行

- 善意銀行
 - ・ 寄付金 36件 1,360,758円
 - ・ 未使用切手 2件 2,963円分

騰波ノ江地区防災訓練が行われました

7月2日(日)騰波ノ江小学校において、騰波ノ江地区 区長社協連合会を中心とした地域住民主体による地域防災訓練が行われました。

小学校区単位で行う防災訓練は騰波ノ江地区が初めての試みで、地域・市・社協の協働により地震災害を想定した3種類の訓練を実施しました。騰波ノ江地区の皆さんをはじめ、騰波ノ江小学校の先生方、市より避難所担当職員、消防防災課、下妻市社協、総勢120名が参加しました。

■ 訓練内容

・避難訓練<地域>

各地区の公民館へ参集・安否確認後、各地区代表者数名が徒歩や車で騰波ノ江小学校へ避難訓練を実施しました。

・避難所開設訓練<市>

防災倉庫より段ボールベッドと間仕切りを運び出し、参加者が中心となり組立てました。



・避難所運営訓練<社協>

「避難所」で起こる様々な出来事、を疑似体験できる「避難所運営ゲームHUG」を、グループに分かれ体験しました。



下妻市社協では、今後も「福祉」という視点から災害に関する訓練や研修、イベント等を通して、防災意識の向上と安心して暮らせる地域づくりのため、地域の皆さんと一緒に防災について取組みます。いつ起こるかわからない災害に備え、皆さんのお住いの地区でも地域防災訓練を開催してみませんか？

「取手市災害ボランティアセンター」支援報告

令和5年6月の梅雨前線による大雨および台風第2号の影響により取手市双葉地区で被害が発生しました。それに伴い取手市社協では6月5日に災害ボランティアセンターを開設しました。下妻市社協は茨城県社協からの要請を受け、「社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき、6月11日から6月13日の3日間に当会職員1名をセンター初動期立ち上げの支援として、また6月24日から6月30日の1週間に3名をセンター運営支援のため、取手市災害ボランティアセンターに派遣しました。

■ 活動報告

6月11日から6月13日の3日間は初動期対応や自治会役員と連携した現地調査・ニーズ調査、6月24日から6月30日の1週間はニーズ調査および床下乾燥を目的としたサーキュレーター配布に従事しました。

双葉地区は、自治会組織が整っており、平時から『共助』が成り立っているため今回の被災時にもその機能が活かされていました。ニーズ案件や困りごと、不安な気持ちなどを自治会館に詰めている役員やボランティア(自主的に参加している住民)が聴き取り対応しており、様々な情報が集約されていました。

今回の派遣を終えて、平時における地域のつながりの強さが、防災・減災につながり、災害にも強い街であることを改めて実感しました。被災された方々が一日でも早く元の生活に戻れるよう心より願います。

なお現在、取手市災害ボランティアセンターは、常設型で行っていたボランティア活動の受け入れについては7月3日をもって終了しています。今後の活動については取手市社協のホームページを随時ご確認ください。



傾聴ボランティア養成講座を開催しました

6月16日(金)に『第1回目 傾聴ボランティア養成講座』を開催しました。講師にNPO法人日本傾聴ボランティア協会 山田 豊吉 氏を迎え、傾聴の基本や心構えの講話の他、3人1組でのロールプレイ実習を行いました。人とのつながりが希薄化している現代社会の中で孤独を感じ、「自分の思いを聴いてほしい」と絆を求めている方がいます。心の声に耳を傾ける活動にあなたも参加してみませんか。

傾聴の基本講話がありますので、今回からの参加も大歓迎です。お気軽にお問合せください。

第2回目 傾聴ボランティア養成講座を開催します

日 時：10月20日(金) 午前10時～午後3時(12時～1時は昼食時間)

会 場：福祉センター砂沼荘 多目的室

講 師：NPO法人日本傾聴ボランティア協会 山田 豊吉 氏

参加費：無 料

募集人員：10名 *申込多数の場合は抽選となります
(第1回目を受講された方は改めてご応募の必要はありません)

申込方法：下妻市社協へお電話にてお申込みください

申込締切：10月6日(金)

主 催：傾聴ボランティアよりそい

※昼食は各自ご用意ください

申込・問合せ：下妻市社協 地域福祉係 TEL 44-0142



在宅福祉サービスセンター「あおぞら」・ 子育て支援「ファミリーサポートセンター」 協力会員研修・交流会

普段は別々に活動をしている相互援助サービス「あおぞら」「ファミリーサポートセンター」の協力会員同士の資質向上や交流を図るため、6月・7月に協力会員研修会及び交流会を実施しました。

研修会

6月13日(火)にアンガーマネジメント研修会を実施しました。講師に 須藤 百合子氏と 岡安 親子 氏をお迎えし「感情の動き」についての講話をいただきました。

参加者の皆さんは講話の内容に終始うなずき納得されていました。グループワークでは初めて顔を合わせる方もいましたが、楽しみながら取り組まれました。



交流会

7月11日(火)に24名の参加のもと協力会員交流会を開催しました。行き先となったキューピー五霞工場では、マヨネーズやドレッシングの製造工程を見学し、近隣のレストランにて昼食を楽しみました。

今回の交流会を通じ、普段はなかなか顔を合わせる機会の少ない協力会員さん同士が親睦を深め、お互いの活動を知る機会となり、情報交換の場になりました。

参加者からは「関わりの少ない方と交流できてよかった」「また来年も計画してほしい」との感想をいただきました。



送迎ボランティア養成講座を開催しました

5月31日(水)に『～子ども達へのお手伝い～送迎ボランティア養成講座』を開催しました。講師に上筑波自動車学校の 坂本 麻美 氏を迎え、子ども達を同乗させるときの運転に対する心構えや交通安全の講話の他、小児に対する救命講習を受けました。

今後、社協では当会の事業を利用している子ども達への送迎サービスを今秋よりスタートする予定です。



絵手紙をお届けしました

7月27日(木)、ふれあいお届け事業で65歳以上のひとり暮らしの方で配布を希望されている266名の方に、暑中見舞いの絵手紙を郵送しました。

絵手紙の作成には市内で活動するボランティアの 宮田 蔵 様と絵手紙教室のコスモス様・すみれ様・さくら様のご協力をいただきました。完成された絵手紙は81枚にのぼり、どれもが心温まるとても素敵なものとなっています。今年の夏も熱中症に気を付けてお過ごしください。



令和4年度 災害義援金のご報告

募金総額 7,327円

お預かりした義援金は茨城県共同募金会を通じ、全額被災地にお届けしました。

募集した義援金

- ・令和4年3月福島沖地震災害義援金
- ・静岡県台風義援金
- ・令和4年8月3日からの大雨災害義援金

皆様のご支援ありがとうございました

令和5年度まちづくり活動に取り組む事業の申請を受付中です

社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金の地域還元と使い道の透明性を目的に、地域住民が主体のまちづくり活動を支援するため「赤い羽根共同募金 地域福祉助成事業」の制度を設けています。

現在、令和5年度第3期の申請を受け付けていますので、皆さまの地域でもぜひご活用ください。

助成額

20万円(上限額)

※年間予算額200万円に達し次第終了となります

募集〆切
(第3期)

令和5年11月30日(木)

対象となる
事業

住民参加によるたすけあい活動、高齢者や障がい者の方への支援、
子どもの健全育成、防災・防犯の促進 など

○ 過去に対象となった事業例

- ・ 災害時や非常時に備え、自治会で所有する発電機や防災テントの整備
- ・ 地域住民が安心して楽しめる交流の場づくり
- ・ 整備不十分な地域の道路や小学校周囲の除草など、住みやすい地域をつくるための活動

✕ 制度の対象外となる事業

- ・ 限られた方の利用で汎用性が低い事業 (ゴミ置き場の改修など)
- ・ 営利を目的とする事業
- ・ 備品等の個人所有を目的とする事業
- ・ その他、寄付者の理解を得ることが難しい事業

※助成事業の対象になるかご不明な場合は、社協までお問合せください

詳細につきましては、社協(44-0142)までお問い合わせいただくか、

下妻市社協ホームページ → **地域福祉** → **地域福祉助成事業** をご覧ください。

過去に実施した事業例はこちらから → → →



咲かせよう 愛の花

善意銀行

ありがとうございました

2023年5月1日～7月31日(順不同・敬称略)

古切手	
増山 剛	
飯泉 正夫	
鯨井 登美子	
井元 恵美子	
高田 光枝	
塚田 収	
秋森 実	
小田部 三知子	
(株)丹沢商店	
第一生命保険(株) 下妻営業オフィス	
(株)下妻建設	
(有)フジヤ商店	
矢田部商事(株)	
訪問看護ステーション しもつま	
特別養護老人ホーム 加養の里	
愛宕園	
認定こども園 ふたば文化	
下妻市聴覚障害者協会	
退職公務員連盟下妻支部	
手話サークル 菜の花	
下妻市更生保護女性会	
千代川郵便局長	
市役所 消防防災課 健康づくり課	
匿名 6名	
預託金	
白鳥 文子	10,000円
フラワーカップ実行委員会	75,000円
フラワーカップ実行委員会	75,000円
フラワーカップ実行委員会	73,419円
手話サークル菜の花	40,209円
下妻市茶道連盟 香出水会	16,650円

下妻砂沼郵便局	7,218円
クリーンポート・きぬ	5,704円
下妻砂沼郵便局	未使用切手82円分
匿名	19,303円
匿名	4,513円
匿名	3,000円
匿名	3,000円
匿名	910円
書き損じハガキ	
下妻市聴覚障害者協会	
特別養護老人ホーム 加養の里	
退職公務員連盟下妻支部	
匿名 1名	
生活用品(マスク・紙オムツ・おしりふき・タオルなど)	
飯泉 正夫	
栗崎 のぶ	
富永 武久	
退職公務員連盟下妻支部	
匿名 6名	
フードバンク(お米・レトルト食品・保存食など)	
(株)カスミ	
フードスクエア下妻ふるさわ店	

フードスクエア下妻店	
フードオフストッカー千代川店	
(株)TAIYO	
ヤマダイ(株)	
フードバンク回収BOX(きずなBOX)	
下妻公民館・砂沼荘・千代川公民館・大宝公民館・図書館・下妻市役所	
JA常総ひかり下妻支店 JA常総ひかり下妻千代川支店	
ファミマフードドライブ	
ファミリーマート市内全店舗	
匿名 18名	
お届け先	
※食糧品→お菓子・調味料・お米など	
お茶NOMA	
ひまわり学童クラブ	
いずみ学童クラブ	
騰波ノ江小学校学童クラブ	
もみの木学童クラブ	
プレールアフタークラブ	
プレアフタースクール第2	
自生園	
個人延べ94名	
市内介護施設	
※介護用品→紙オムツ	

広報紙「ふくしものがたり」令和5年5月号(No.278)の下記のページにおきまして、掲載内容に一部誤りがございました。皆様に深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正いたします。

(訂正内容)
P8 『ファミリーマートに「きずなBOX(食品寄贈ボックス)」が設置されました』
食品回収協力団体一覧
誤：社会福祉法人 みどりの会 マルニカレッジ
正：社会福祉法人 みどりの会 マルニカレッジ



わくわく
みんなの

防災

Halloween

2023

～もしもに備えてみんなで防災について学んじゃおう～

日時 10月28日(土) 10時～15時

場所 Waiwaiドームしもつま

しもつま
ハロウィンコレクション開催!
詳細は後日
市お知らせ版・社協HPで
お知らせします
みんなで参加しよう!!

たのしいイベント盛りだくさん
キッチンカーもくるよ



主催: 下妻市社会福祉協議会

参加団体: Shi♡shimai・ガールスカウト茨城県第42団・しもつま外国人支援ネットワークTOMODACHI

みらい子育てネット下妻・災害ボランティア名もなき団体・鈴木鉄工建設(株)

でこぼこキッズ凸凹親の会「にじいろ☆すまいる」

下妻市母子保健推進員協議会・下妻エコの会リボン・子育て応援「バトンの会」

下妻市観光協会・下妻市消防防災課・自衛隊筑西事務所・下妻消防署・下妻警察署

ご協力をよろしく申し上げます

赤い羽根共同募金運動



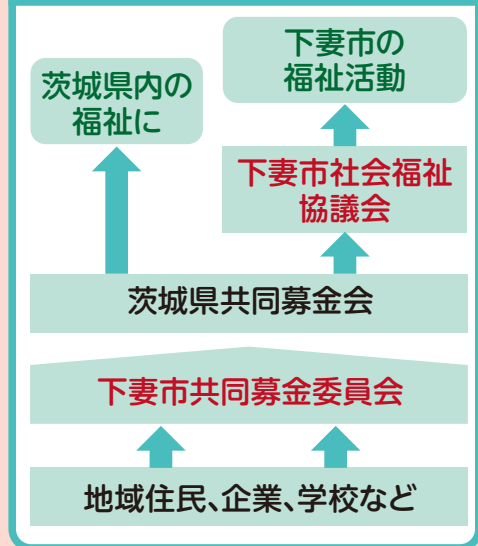
運動期間 10月1日から12月31日

10月1日から全国一斉に**赤い羽根共同募金**がスタートします。
下妻市共同募金委員会では、毎年10月1日から12月31日を期間として赤い羽根共同募金運動を推進しており、福祉関係者や区長の皆さま、市内企業・学校等のご協力のもと、様々な募金運動を展開しています。

皆さまから寄せいただいた募金は、下妻市の地域福祉や高齢者・障がい者・児童福祉、ボランティア活動など様々な社会課題・地域課題を解決するための活動に役立てられます。
「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、皆さまのあたたかいご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



共同募金のしくみ



茨城県内の福祉に

下妻市の福祉活動

下妻市社会福祉協議会

茨城県共同募金会

下妻市共同募金委員会

地域住民、企業、学校など

赤い羽根共同募金運動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたの優しさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きっとまちを変えていくはじめの一步となります。もっと、もっと、下妻市が良いまちになりますように。



赤い羽根共同募金の使い道(令和5年度)

下妻市における昨年度の募金総額は12,462,116円となりました。このうち約90%にあたる11,190,336円は下妻市で取り組まれる各種福祉事業に役立てられます。(残りの10%は県内の福祉事業費として活用されます)



高齢者福祉のために……457,000円
ひとり暮らしのお年寄りへの絵手紙・カレンダー
お届け事業 ほか



市民が取り組む地域福祉活動支援のために……2,656,000円
地域福祉助成事業、地域福祉活動支援事業 ほか



子ども・青少年福祉のために……3,196,000円
わくわく子育て事業、福祉教育支援事業 ほか



まちなか交流・サロン支援のために……756,000円
サロン連絡会開催事業 ほか



障がい者福祉のために……585,000円
発達相談事業 ほか



生活にお困りの方のために……596,800円
緊急生活援助事業 ほか



地域福祉活動推進のために……770,000円
住みよいまちづくりのための調査活動事業 ほか



その他各種福祉事業のために……2,173,536円
防災ラジオ助成事業、災害対応備品購入事業、
火災見舞金支給事業 ほか



昨年度の下妻市での募金の使い道につきましては、「赤い羽根データベースはねっと」をご覧ください
「赤い羽根データベースはねっと」

募金額として1世帯あたり1,000円を目安にご協力をお願いいたします

